

vol.224
February



学校法人 ヴォーリス学園
Vories Gakuen

Salt of the Earth Light of the World 学園訓「地の塩・世の光」



寒さの中に 希望の春



CONTENTS

巻頭言 中学校長挨拶
コラム「いのちの光」
学園・中高TOPICS
クリスマス報告
ヴォーリスエデュケアセンターTOPICS
寄付者名簿

発行：学校法人 ヴォーリス学園
発行責任者：藤澤俊樹
〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町177
TEL：0748-32-3444

印刷：近江印刷株式会社

Vories Gakuen





ご卒業・ご卒園おめでとうございます

2025年度は高等学校351名、中学校129名、子どもセンター255名の卒業生・卒園児を送り出します。新たなステージでの更なる成長と活躍を期待しています。

さて、2025年はウィリアム・メレル・ヴォーリズの来幡120年記念の年でもありました。この節目の年に近江八幡市の方々を中心に様々な視点でヴォーリズの偉業を振り返る機会がもたれ、学園も創立者の理念を改めて確認する意義のある年となりました。

ヴォーリズが来日し様々な活動をした時代は、近代化が進んだ激動の時代でした。その中であってヴォーリズは「私等は新時代の民であります。」と愛と平和に満ちた共に生きる社会を地域の方々と共に目指すべく、八幡町の方々に感謝と協力の思いを伝えています。

時代は大小様々な波を伴い変化していきます。今の時代は多様化、グローバル化の大きな波の中にあって、その変化は大きく、速く、先が見えない時代であるともいわれています。そのような時代の先頭に立ち「新時代の民」として時代を創造していくのは今の子どもたちです。

創立者の理念をもとに各校園での教育・保育を通

Message



近江兄弟社中学校校長
中島 薫

して、学園を旅立つみなさんにこれからの素地となる種がまかれました。様々な学びと経験を糧に芽を出し、そしてあなたにしかない花を咲かせてください。花を支える根っこには学園訓「地の塩・世の光」に込められた、創立者、そして私たちの目指す建学の精神があります。愛と平和を創り出す人になってください。みなさんの幸せをお祈りしています。ご卒業・ご卒園おめでとうございます。

コラム「いのちの光」

学園チャプレン 浅居 正信

「祈りつつ前進」

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケの信徒への手紙 5章16-18a節

私たちの学園には、百年前から変わることなく受け継がれてきた「朝の祈り」があります。

ヴォーリズは1907(明治40)年4月、「THE OMI MUSTARD-SEED」を創刊しました。母国の仲間に伝道活動の報告や彼の信条を発信し続けた英文小冊子です。

その中に、ヴォーリズと共に働いたジョシュア・ヴォーゲル(1889~1970年)という建築家があります。1916年、彼が母国の友人に送った手紙には、ヴォーリズ建築事務所の始業時の様子がこう記されています。

「始業時には、私たちはいつも神に話しかけ、祝福を願い、私たちが線を引くのを見守ってくださるよう、正確な仕事ができるよう、神のために良い設計図が描けるようお願いをします。私たちが描いているのは伝道のための神の建物の設計図なのです。未来の見取り図を紙の上に描くとき、私たちは、ビジョンを与えたまえと神に祈ります。」

ヴォーリズたちにとって、この祈りのひとときは、神様から託されたビジョンを確かめ、形にするための大切な時間でした。一本の線を引くという具体的な作業さへも、神様への献げ物であると考えていたのです。

100年の時を経て、この祈りは今も私たちの学園に息づいています。毎朝の礼拝から始まる私たちの教育活動もまた、神様から託された尊い働きです。私たちもまた、神様からのビジョンを仰ぎます。「いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝する」。この精神を胸に、これからも共に「祈りつつ前進」してまいりたいと願っています。



卒業式・卒園式日程

近江兄弟社高等学校	2月28日(土)
近江兄弟社中学校	3月6日(金)
近江兄弟社ひかり園	3月14日(土)
もりの風こども園	3月14日(土)
そらの鳥こども園	3月14日(土)
ほしの恵みこども園	3月21日(土)
安土ののほな保育園	3月21日(土)
ふるたか虹のはし保育園	3月14日(土)

TOPICS

学園

PTA研修会

10月25日(土) 中高PTA研修が開催され300名の参加で盛り上がりしました。今回は「子育て・子離れ～思春期の子どもの世界と保護者の関わり～」と題して、山田ルイ五三世さんと春日井敏之高校長に対談して頂きました。山田さんは進学校で不登校になった経験からお笑いの世界に飛び込んで現在に至るまでの経歴について笑いを交えながら語って下さいました。山田さんご自身の子育ての悩みに春日井校長がズバリ答える場面では、「あるある!」という共感が広がりました。「子どもが生まれたからといって誰でもすぐに親になれるわけではない」という山田さんのメッセージに子育てに向きあう保護者で満員の会場が温かい空気に包まれました。



学園賞表彰

高等学校卒業式の前日、2月27日(金)に学園賞表彰が行われます。この賞はヴォーリス学園の幼小中高すべての課程を修了した生徒を対象に贈られるものです。今年度は以下3名が受賞しました。

● 坂田 周 ● 林 和樹 ● 富田 悠仁

TOPICS

学園

ヴォーリスデーの取り組み

11月1日(土) 今年のヴォーリスデーは天候にも恵まれ、気持ちの良い秋空の下、多くの方にご来場いただきました。今年のテーマ「出会い・ふれ合い・ヴォーリス逢い」にふさわしく、ヴォーリス来幡120周年の記念の年に、在校生・同窓生・教職員・保護者の交流の場面があちこちで見られました。中高PTAや後援会の模擬店、同窓会での歴代制服展示、教育活動やクラブ発表での生徒の活躍も多くの来場者に喜ばれ、支えてくださった皆様のおかげで無事ヴォーリスデーを終えることができたことを心より感謝いたします。



2025年度学園ヴォーリスデー会計報告(単位円)

収 入

項 目	金 額	摘 要
前 期 繰 越 金	1,572,070	今年度準備金
模 擬 店 売 上 金	250,600	高校・中学校PTA
出店売上金・協力金	36,100	高校図書委員会、後援会、OMIサービス
雑 収 入	1,824	受取利息
合 計	1,860,594	

支 出

項 目	金 額	摘 要
模 擬 店 材 料 費	143,620	高校・中学校PTA
出 店 材 料 費	12,391	茶道部
広 報 費	17,165	チラシ作成
委 託 費	33,000	警備委託
消 耗 品 費	840	レジ袋
損 害 保 険 料	5,200	イベント保険
雑 費	34,389	役員弁当代、ボランティア生徒金券買い取り、銀行手数料
合 計	246,605	

次年度繰越金

1,613,989

上記の通り報告いたします



TOPICS

高校

海外研修旅行

国際コミュニケーション科 (ICC) は11月16日から28日までオーストラリア (ケアンズ) に、普通科 (ASC/GLC/HNC) は11月25日から28日まで研修旅行に出かけました。普通科の目的地はASCとHNCは台湾 (台北)、GLCは韓国 (釜山、昌原) です。ASCとHNCは姉妹校・交流校である衛理女子高級中学、明倫高級中学をそれぞれ訪問しました。衛理女子高級中学は来年4月に本校を訪問予定、明倫高級中学は本年10月に本校を訪問されており、コロナ禍以降中断していた姉妹校との相互交流がようやく再開できました。GLCは昌原にある馬山中央教会を訪問し、ともに礼拝の時を持つことができました。ICCは語学学校での学習、現地校訪問、ホームスティを通じて、日ごろの学習の成果を遺憾なく発揮することができました。

ICC in Australia



ASC in Taiwan



GLC in Korea



HNC in Taiwan



TOPICS

高校

留学生柔道体験

11月19日、本校に滞在中の留学生5名が本校柔道部の練習に参加し、部員との交流を深めました。練習では、日本の武道ならではの礼法や、柔道の基本となる受け身について、顧問や部員から丁寧な指導を受け、留学生は一つ一つの動きを真剣な表情で学んでいました。実技練習では部員と共に汗を流し、言葉の違いを越えて互いに声を掛け合う姿が見られました。柔道を通して心と心が通い合う、充実した時間となりました。



TOPICS

高校

高校クラブ報告

●英語ディベート部

第20回全国高校生英語ディベート記念大会 in 埼玉 (14年連続15回目)
★6位入賞



●女子サッカー部

第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場 (2年連続2回目)
★2回戦敗退、ベスト32



●女子バスケットボール部

ウィンターカップ
第78回全国高等学校バスケットボール選手権大会出場 (2年連続5回目)
★1回戦敗退



●女子バレーボール部

春の高校バレー
第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会出場 (5年連続17回目)
★2回戦敗退、ベスト32





TOPICS

中学

研修旅行 1年生 京都研修～伝統と社会に触れた二日間～

11月6日・7日、1年生が京都研修を実施しました。初日は「B&Sプログラム」で大学生と巡り、事前学習に基づきインタビューや体験調査を敢行。夕食のテーブルマナーや夜のレクリエーションを通じ、親睦も深めました。二日目は御幸町教会での礼拝後、企業訪問「ジョブtavi」へ。緊張感の中で名刺交換や取材を行い、社会の仕組みを学びました。多くの方々に支えられたこの二日間は、礼儀や探究心を養う大きな一歩となりました。



2年生 沖縄研修旅行～「知らない」を「知る」学びへ～

11月5日から3泊4日、スローガン「か（感謝を忘れず）・り（琉球の地で）・ゆ（友情を深め）・し（島人と交流）」のもと、沖縄研修旅行を実施しました。現地では興南中高生による首里城案内、沖縄国際大学との平和ガイド・ディスカッション、沖縄カトリック中との交流など、充実した学びを経験。遠かった沖縄が、交流を通じ「関わった方々の顔が浮かぶ身近な地」へと変わりました。この研修で得た「生きた学び」を糧に、生徒たちは大きな成長を遂げることができました。



3年生 ヴォーリス研修～学園のルーツを学ぶ旅～

11月5日、3年生はゆかりの地・神戸を訪れました。一柳満喜子先生の母校・神戸女学院では、ヴォーリス建築の美しい校舎に本校との深いつながりを実感。礼拝堂では院長先生の講話を通じ、リベラルアーツの精神や建築の意図を学びました。午後の南京町での班別研修では親睦を深め、進路決定という大切な時期を前に、互いに高め合う集団としての絆を再確認する貴重な一日となりました。



TOPICS

中学

IBL (Inquiry-Based Learning) プロジェクト開催～探究の集大成～

12月16日（火）、本校の教育の柱である探究活動の全校発表会「IBLプロジェクト」が行われました。2回目となる今回は、各学年がこれまでの学びをさらに深化させた内容となりました。1年生は京都研修をもとに、対話形式を取り入れたユーモア溢れるグループ発表を披露。2年生は沖縄研修での実体験を新鮮な視点でまとめた個人発表を行いました。3年生は「地域貢献」をテーマに近江八幡市へ提言。会場には近江兄弟社グループや地元企業、市役所の方々と審査員としてお招きし、エコツーリズムや新スイーツの提案など、中学生らしい斬新なアイデアを披露しました。

各学年がそれぞれのプロセスを経て迎えた一年の節目となる発表会。

1・2年生は今回の経験を次なる活動へ繋げ、探究の歩みをさらに進めていきます。



TOPICS

中学

文化祭 ～絆を深めた最高のステージ～

9月11日・12日の両日、文化祭が開催されました。スローガン「Let's show time～奏でろ！ 演じろ！ 青春だ！～」のもと約1週間の準備期間を経て、各クラスが演劇と合唱を披露。1年生の瑞々しい演技から、3年生の迫力溢れる舞台まで、趣向を凝らした発表が観客を魅了しました。表彰式では、歓喜の表情や惜敗の涙、そして互いを称え合う拍手が会場を包み、今年度一番の感動的なシーンとなりました。実行委員長からは、支えてくれた保護者や教員への感謝と、今後のさらなる成長への決意が語られました。





Vories Gakuen Christmas



VECC TOPICS

近江兄弟社ひかり園

クリスマスキャロリング

12月16日(火) 近江兄弟社ひかり園5歳児クラスの子ども達が、ヴォーリス学園の中庭にて「イエス様がお生まれになったクリスマスをみんなでお祝いいたしましょう!」と、歌をうたって知らせる「キャロリング」を行いました。白いケープを着た子どもたちが中庭に並ぶと、中庭、回廊、校舎の窓やテラスから生徒や教職員の皆さんが、笑顔で歌声に耳を傾けてくださり、とても温かく優しい空間に包まれたひと時となりました。



VECC TOPICS

安土ののはな保育園

クリスマス

12月9日(火)・12日(金)に3・4・5歳児学年ごとにクリスマスを行いました。

11月から園内でもインフルエンザが流行し、当日残念ながら欠席した子もいましたが、たくさんの保護者の方が温かく見守ってくださっている中で3・4歳児はクリスマスソングを歌・合奏で披露しました。昨年より成長した姿に嬉し涙を流す保護者の姿が見られました。5歳児はページェントに取り組み、イエス様の誕生を素敵な歌やセリフで届けました。子どもたちの一生懸命に伝えようとする気持ちが感じられ、保護者の皆さんも優しい笑顔に包まれました。



TOPICS

中学

クリスマス礼拝 ～響き渡る四部合唱～



12月23日(火)、降誕を祝うクリスマス礼拝を守りました。第一部の「讃美礼拝」では、美しい四部合唱の音色が響き、締めくくりには「ハレルヤ・コーラス」で喜びを分かち合いました。特に3年生による厳かな入退場は、会場を深い感動で包みました。



ページェント ～伝統と個性が織りなす降誕劇～

午後の「ページェント」は、無声劇の形式でクリスマスの物語を分かち合いました。英語での聖書朗読が荘厳な雰囲気醸し出す中、ピアノやギターの演奏、そして一年生による聖歌隊の清らかなハーモニーが舞台を彩り、深い感動に包まれました。



キャロリング ～地域の方々へ喜びの歌声を～

その後、生徒たちは近隣の医療施設や保育施設、こども園などへ「キャロリング」に向かいました。これまで準備してきた讃美歌を披露し、利用者の方々や子どもたちと温かな交流のひと時を持ちました。生徒たちが奉仕の喜びと他者との繋がりを学ぶ、大切な機会となりました。受け入れてくださった皆様に心より感謝いたします。





TOPICS

学園

アドベント礼拝～光を灯し、クリスマスを待ち望む～

12月1日、クリスマスを待ち望むアドベント（待降節）を迎え、学園ではアドベント礼拝を行いました。この礼拝は、中学生と高校生が一堂に会して共に守る、学園全体での貴重なひとときです。

礼拝では中高それぞれの代表者によって学園本館前のイルミネーションが点灯され、夜空に美しい光が灯されました。これから迎えるクリスマスに向け、地域のみなさまと喜びを分かち合い、幸せを届けるための祈りの季節が始まります。



近江兄弟社クリスマス礼拝



12月19日(金) 18:00よりヴォーリス平和礼拝堂において、近江兄弟社グループの皆さんが参加する「近江兄弟社クリスマス」が行われました。

第1部礼拝では高校聖書科の徳田恵美奈先生から『救い主がお生まれになった日』と題するメッセージがあり、第2部では高校吹奏楽部の皆さんによるクリスマスコンサートが開催され、「ジングルベル」や「サンタが街にやってくる」などのクリスマスソングの他「YOASOBIメドレー」「ヤングマン」など軽快な演奏で楽しい時間を過ごすことができました。

TOPICS

高校

クリスマス礼拝

12月19日(金)、リニューアルした近江八幡市文化会館にてクリスマス礼拝を守りました。ハンドベル部の演奏や有志130名の聖歌隊による合唱が会場を美しく彩り、続いて沖縄より榎本恵先生（サマリヤ病院チャプレン）をお迎えしました。「クリスマスの、その晩に」と題したメッセージは深く心に響き、新会場での一歩を刻む素晴らしい礼拝となりました。



TOPICS

学園

ヴォーリス学園音楽会

12月21日、ヴォーリス平和礼拝堂にてヴォーリス来日120周年の記念すべき年を締めくくる「ヴォーリス学園音楽会」が開催されました。第1部の中高吹奏楽部によるアンサンブルで幕を開け、続くステージでは本校卒業生のバリトン歌手・下林一也氏をはじめ、村岡瞳氏（ソプラノ）、山際きみ佳氏（メゾ・ソプラノ）、谷村悟史氏（テノール）らプロの声楽家による圧巻の歌声が披露されました。アンコールの「ハレルヤ」では、中高生もステージに上がり、日頃の礼拝で培った四部合唱の成果を披露。最後は会場全員でヴォーリス作詞作曲の「讃美歌236番」を合唱し、120年の歩みに感謝を捧げる感動的なフィナーレとなりました。





VECC TOPICS

そらの鳥こども園

もちつき

12月19日、杵と臼を使った伝統的なおもちつきを行いました。子どもたちは、もち米をつくことで次第に粘り、伸びていく変化に興味深く観察。3～5歳児が交代で杵をつき、特に5歳児の力強い姿には、周りから元気な「よいしょ！」の掛け声が飛び交いました。出来上がったお餅は、鏡餅として園内に飾り、新年を迎える準備を整えました。



新恵愛館建設進捗状況

昨年(2025年)7月25日より新恵愛館工事の準備のため中庭の取り囲み等がなされ、8月22日に本格的な解体工事が始まりました。解体の下準備に約1ヶ月かかりましたが、10月24日に解体跡地の整備が終了し現在に至っています。



これまでに細かい点での設計変更を進め、詳細な建築設計が完成しました。建築工事に取りかかるのにしばらく時間を要しますが、次年度(2026年度)に入り建築工事が始まる予定です。

中高のハブ施設として建設される新恵愛館は「新しい学習空間・発表の場」として、仲間と協働して探究したり、1階中央の大階段では、みんなで集まって、大画面のモニターでプレゼンをしたり、自由に活用できるように設計されています。

また、学習活動だけでなく、放課後に仲間と交流したり、一人一人の居場所としての機能や、保護者や同窓生が集える場、地域や社会とつながる開かれたキャンパスとして利用してもらえるよう様々な工夫を凝らしています。新恵愛館を中心に既存の校舎も含め、「ラーニングコモンズ」として見直しを進め、新しい学びの場としていきたいと考えています。完成までにはもう少し時間が必要でご不便をおかけしますが、皆様のご協力をよろしくお願いします。



第2期「ヴォーリスみらい構想」募金へのご協力のお願い

<寄付者名簿(敬称略)>

第2期「ヴォーリスみらい構想」

2022年6月から2025年12月末までにたまわりました第2期「ヴォーリスみらい構想」寄付金は、**合計28,873,911円**に達しました。皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。2025年9月から12月末の間にご寄付くださいました方のお名前を記して感謝の意を表します。

森田一生・瑞穂500,000、飯高京子 100,000、匿名100,000、小西勉50,000

5万円未満 (公財) 京都YMCA、鈴木有、西澤政男、小梶勇佑、船木秀介、安永順一、岡田里美、大門耕平、若山兌子、恒川光子、北山悦子、大波多順子、白戸紀二六、竹内洋子、崎村久美子、匿名

特別寄付

2025年9月から12月末までに特別寄付金をたまわりました皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。下記にお名前を記して感謝の意を表します。

森田一生・瑞穂500,000、木村厚之300,000

5万円未満 夏原さゆり、近江兄弟社高等学校(卒業生・保護者)、匿名

※その他多くの方より、現物寄付をいただいております。